



アラートとエラーメッセージ

この付録では、Broadband Access Center (BAC) が生成するすべてのアラートメッセージとエラーメッセージについて説明します。次のメッセージを取り上げます。

- [RDUのアラート \(P.A-2\)](#)
- [DPEのアラート \(P.A-3\)](#)
- [ウォッチドッグのアラート \(P.A-5\)](#)
- [Network Registrar 拡張ポイントのアラート \(P.A-6\)](#)

BACのアラートは、syslog サービスを通して生成されます。syslog は、Solaris 上で情報のロギングを管理するためのクライアント/サーバプロトコルです。BACの syslog アラートは、ロギングサービスではありません。問題が発生した場合には通知されますが、問題の原因がいつも特定されとは限りません。この情報は、該当する BAC ログファイルに書き込まれる場合もあります。

メッセージ形式

BAC がアラートメッセージを生成するときの形式は次のとおりです。

XXX-#####: Message

- XXX: ファシリティコードを表します。これには、次のものが含まれます。
 - RDU (Regional Distribution Unit)
 - DPE (Device Provisioning Engine)
 - AGENT (rduSnmpAgent または dpeSnmpAgent)
 - NR_EP (Cisco Network Registrar 拡張ポイント)
 - KDC (鍵発行局)
- #: 使用されている重大度のレベルを表します。表 A-1 にさまざまなレベルを示します。

表 A-1 アラートメッセージの重大度レベル

| 重大度レベル | 説明 |
|--------|---------------|
| 1 | アラートを示します。 |
| 2 | 重大なアラートを示します。 |
| 3 | エラーを示します。 |
| 6 | 情報メッセージを示します。 |

- ###: 数字のエラーコードを示します。
- Message: アラートのテキスト (メッセージ) を表します。

RDU のアラート

表 A-2 は、RDU のアラートを示しています。

表 A-2 RDU のアラート

| アラート | 説明 |
|--|---|
| RDU-1-101: RDU ran out of disk space | RDU サーバのストレージパーティションの容量が不足していることを示します。このエラーが発生すると、RDU は自動的に再起動を試みますが、通常は、利用可能なストレージ容量が増加するまで同じエラーが再び発生します。一部のログ ファイルは削除または圧縮できます。 詳細については、第 14 章「サポートするツールと高度な概念」を参照してください。 |
| RDU-1-103: RDU ran out of memory | RDU のメモリが不足していることを示します。このエラーが発生すると、RDU サーバは自動的に再起動します。 |
| RDU-1-111: Evaluation key for technology <i>[technology_name]</i> expired | 指定したテクノロジーの評価キーの期限が満了していることを示します。シスコの営業担当または TAC にお問い合わせのうえ、新しいライセンス キーを入手してください。 |
| RDU-1-115: You have used <i>[]</i> percent of available <i>[technology_name]</i> licenses. | ライセンスの総許容数のうち使用されているライセンスの数をパーセントで示します。このアラートは、ライセンスの総許容量の 80% に達すると表示されます。 |
| RDU-1-122: DNS took <i>[]</i> seconds for lookup of address <i>[ip/hostname]</i> . Check DNS configuration and health of servers | DNS からの応答に遅延が発生しているため、BAC のパフォーマンスが低下している可能性があることを示します。このアラートは、IP アドレスのルックアップが 60 秒を上回るたびに生成されます。 |
| RDU-2-119: Directory <i>[]</i> that contains the RDU database has a filesystem block size of <i>[]</i> bytes that does not match the required size of <i>[]</i> bytes. Corruption may occur. | データベース ファイルが含まれるファイル システムが、8 KB 以上のブロック サイズをサポートするように設定されていないため、BAC データベースが信頼できない可能性があることを示します。 ファイル システムのブロック サイズの設定の詳細については、『 <i>Installation and Setup Guide for the Cisco Broadband Access Center 4.0</i> 』を参照してください。 |
| RDU-2-200: Directory <i>[]</i> that contains the RDU database transaction logs has a filesystem block size of <i>[]</i> bytes that does not match the required size of <i>[]</i> bytes. Corruption may occur. | データベース ログ ファイルが含まれるファイル システムが、8 KB 以上のブロック サイズをサポートするように設定されていないため、BAC データベースが信頼できない可能性があることを示します。 ファイル システムのブロック サイズの設定の詳細については、『 <i>Installation and Setup Guide for the Cisco Broadband Access Center 4.0</i> 』を参照してください。 |



(注) RDU の syslog アラートが送信されるたびに、追加の詳細が `BPR_DATA/rdu/logs/rdu.log` というログ ファイルに書き込まれます (追加の詳細がある場合)。

DPE のアラート

DPE の syslog アラートが送信されるたびに、追加の詳細が DPE ログに書き込まれます。

DPE ログにアクセスするには、**show log** コマンドを使用します。詳細については、『*Cisco Broadband Access Center DPE CLI Reference 4.0*』を参照してください。

DPE エラーの中には、RDU サーバのログ ファイルに伝播されるものもあります。これらのエラーは、*BPR_DATA/rdu/logs/rdu.log* ファイルで確認できます。

表 A-3 は、DPE のアラートを示しています。

表 A-3 DPE のアラート

| アラート | 説明 |
|--|--|
| DPE-1-102: DPE ran out of disk space | <p>DPE サーバが使用するストレージパーティションの容量が不足しています。次の 3 つの解決策があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> ディスクに常駐する過剰のサポート バンドルをクリアします。そのためには、不要なサポート バンドルを別のコンピュータへ移動した後、DPE コマンドライン インターフェイス (CLI) から clear bundles コマンドを実行します。 DPE の CLI から clear logs コマンドを実行して、ディスク領域をクリアします。 最後の手段として、DPE の CLI から clear cache コマンドを実行して、すべてのキャッシュ ファイルを削除し、DPE を強制的に RDU サーバと再同期します。 |
| DPE-1-104: DPE ran out of memory | <p>DPE プロセスのメモリが不足しています。このエラー状態になると、DPE は自動的に再起動します。</p> <p>DPE に存在するデバイス構成の数を確認します。デバイス構成の数が多いほど、使用されるメモリは多くなります。デバイス構成の数を減らすには、DPE がサービスするプロビジョニング グループ (プライマリまたはセカンダリ) 内のデバイスの数を制限します。</p> |
| DPE-1-109: Failed to connect to RDU | <p>RDU に接続できません。次の作業を行う必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> DPE ネットワークが正しく構成および接続されていることを確認します。 dpe rdu-server コマンドを使用して、DPE が正しい RDU に接続するよう設定されていること、および接続ポートが正しく設定されていることを確認します。 RDU プロセスが正しいサーバで実行され、正しいポートで受信されていることを確認します。RDU への接続が確立されるまで、数秒ごとに DPE から RDU プロセスへの再接続が試行されます。 |
| DPE-1-117: DPE license nodes have been exceeded or there is no valid DPE license | <p>DPE を開始する BAC プロセス ウォッチドッグで DPE のライセンスが検出されなかったことを示します。</p> <p>管理者のユーザ インターフェイスを使用して、DPE のライセンス キーを入力します。ライセンスがない場合は、シスコ代理店にお問い合わせください。</p> |

表 A-3 DPE のアラート (続き)

| アラート | 説明 |
|--|---|
| DPE-1-116: DPE evaluation license has expired.Dropping DPE connections and deleting DPEs from database | DPE の評価ライセンス キーの期限が満了していることを示します。シスコの営業担当または TAC にお問い合わせのうえ、新しいライセンス キーを入手してください。 |
| DPE-2-118: Directory [/] that contains the DPE's cache has a filesystem block size of [/] bytes that does not match the required size of [/] bytes.Corruption may occur. | ファイル システムが、8 KB 以上のブロック サイズをサポートするように設定されていないため、DPE キャッシュが信頼できない可能性があることを示します。 ファイル システムのブロック サイズの設定の詳細については、『 <i>Installation and Setup Guide for the Cisco Broadband Access Center 4.0</i> 』を参照してください。 |
| DPE-1-121: Cannot start the server due to an invalid encryption key. | 暗号キーが無効であるため DPE を開始できなかったことを示します。 |

ウォッチドッグのアラート

プロセス ウォッチドッグによって syslog アラートが送信されるたびに、エラーの詳細が `BPR_DATA/agent/logs/agent_console.log` ファイルに書き込まれます (エラーの詳細がある場合)。また、アラートで言及されている特定のコンポーネントに対応したログ ファイルにも出力されます。たとえば、`The rdu unexpectedly terminated` のようなアラートを受信した場合は、RDU サーバのログ ファイル (`BPR_DATA/rdu/logs/rdu.log`) で追加の情報を確認します。表 A-4 はプロセス ウォッチドッグのアラートを示しています。

表 A-4 プロセス ウォッチドッグのアラート

| アラート | 説明 |
|--|---|
| AGENT-3-9001: Failed to start the <i>[component]</i> | ウォッチドッグが特定のコンポーネントの開始に失敗したことを示します。 |
| AGENT-3-9002: The <i>[component]</i> unexpectedly terminated | プロセス ウォッチドッグで監視されていた特定のコンポーネントが、不意に失敗したことを示します。 |
| AGENT-6-9004: The <i>[component]</i> has started | プロセス ウォッチドッグによってコンポーネントが正常に開始されるたびに生成されます。このメッセージは情報の提供のみを目的としています。 |
| AGENT-6-9005: The <i>[component]</i> has stopped | プロセス ウォッチドッグによってコンポーネントが正常に停止されるたびに生成されます。このメッセージは情報の提供のみを目的としています。 |
| AGENT-3-9003: Failed to stop the <i>[component]</i> | プロセス ウォッチドッグが終了しようとしたコンポーネントが停止しなかったことを示します。 |
| AGENT-3-9003: Failed to create listener thread; <i>[error no]</i> Failed to close listen socket; <i>[error no]</i> Failed to cancel listen thread, and so on | 他のアラート メッセージで定義されていないエラーを示します。 |

表 A-4 でプロセス ウォッチドッグのアラート リストに示されている *[component]* 変数は、次のコンポーネント値のいずれかを表します。

- rdu
- dpe
- tomcat
- cli
- snmpAgent
- kdc

Network Registrar 拡張ポイントのアラート

BAC Network Registrar 拡張ポイントの syslog アラートが送信されるたびに、追加の詳細情報が Network Registrar ログ ファイルに書き込まれます。

表 A-5 は、Network Registrar 拡張のアラートを示しています。

表 A-5 Network Registrar 拡張のアラート

| アラート | 説明 |
|--|---|
| NR_EP-1-106: Failed to connect to RDU | <p>Network Registrar サーバが RDU に接続できないことを示します。RDU プロセスが実行されているかどうかを確認し、まだ実行されていない場合は RDU を開始します。</p> <p>RDU が実行されている場合は、Network Registrar コンピュータを使用して RDU への ping を実行します。RDU への ping を実行できない場合は、2 つのデバイス間のルーティング テーブルやその他の通信パラメータを修正します。</p> <p>このアラートが頻繁に繰り返される場合は、2 つのホスト間の接続が不安定になっている可能性があります。一般的なネットワークのトラブルシューティング方法を使用して、2 つのホスト間の接続を改善してください。</p> |
| NR_EP-1-107: Failed to connect to any DPEs | <p>Network Registrar 拡張が DPE に接続できないことを示します。</p> <p>プロビジョニング グループの DPE が Network Registrar 拡張ごとに存在するかどうかを確認します。存在しない場合は、Network Registrar プロビジョニング グループを、DPE を利用できるものに変更します。DPE がプロビジョニング グループにある場合は、Network Registrar 拡張が RDU に登録されていることを確認します。登録されていない場合、DPE は認識されません。</p> <p>この確認を行った後もアラートが継続する場合は、Network Registrar 拡張とプロビジョニング グループの DPE との間のネットワーク接続を確認します。</p> <p>このアラートが頻繁に繰り返される場合は、2 つのホスト間の接続が不安定になっている可能性があります。一般的なネットワークのトラブルシューティング方法を使用して、2 つのホスト間の接続を改善してください。</p> |
| NR_EP-6-108: The BAC NR extensions have started | Network Registrar 拡張が起動しました。 |
| NR_EP-6-109: The BAC NR extensions have stopped | Network Registrar 拡張が停止しました。 |
| NR_EP-6-110: Registered with RDU [address and port] | Network Registrar 拡張が RDU に登録されました。 <i>address and port</i> は、Network Registrar 拡張が登録された RDU のアドレスを示します。 |
| NR_EP-1-111: Failed to find usable (best) DPEs | Network Registrar 拡張が使用可能な DPE を見つけられなかったことを示します。 |